

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 山口木配り・喜組みの家

グループの名称 山口木配り・喜組みの会

直近採択グループ番号 04-0171-0632

(グループ代表者)

代表者名 今井 隆 代表者印  
代表者所属先 今井木材株式会社  
代表者所在地 山口県岩国市関戸1038-1  
代表者電話番号 0827-43-1266

(グループ事務局)

事務局事業者名 今井木材株式会社  
事務局担当者名 今井 美栄子 印  
事務局郵便番号 741-0063  
事務局所在地 山口県岩国市関戸1038-1  
事務局電話番号 0827-43-1266  
事務局FAX 0827-43-3558  
事務局担当者E-mail imaimokuzai@mx51.tiki.ne.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		34	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	24	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		28	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	20	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		4	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	45棟	/			
			4468㎡				
		申請が未確定	83棟				
			8240㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	ゼロ・エネルギーは一物件165万円とし、採択件数が足りない場合はくじ引きとする。長寿命・低炭素・性能向上は一物件100万円とし、採択件数が足りない場合はくじ引きとする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	14戸	交付申請戸数	13戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	13戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山口木配り・喜組みの家	(地域型住宅供給対象地域) 山口県・広島県・島根県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 山口木配り・喜組みの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0171-0632	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	山口県は三方を海に囲まれた、温暖な気候の自然豊かな地域です。隣県の広島県、島根県も瀬戸内海側日本海側の違いがありますが、おおむね温暖な気候風土であります。このことをふまえて、断熱等性能等級は平成25年度改正省エネ法に照らし合せ、地域区分4・5・6地域に対応できることを標準といたします。耐震等級は2級を標準とし、バリアフリーは3級以上を奨励いたします。また、水平面の耐震も考慮して床に24mm以上の構造用合板を出来るだけ使用する。地盤調査を行い、調査結果で必要とあれば適切な地盤対策を行う。住む人の健康、住環境に配慮した窓開口を設けて、できるだけパッシブハウスとする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域型住宅に住む人、地域型住宅の建築に携わる人、そしてその住宅の近隣住民の三方良しの方針で地域型住宅事業を進めていく。グループの取り決めである共通ルールを守りながら地域の景観・風土・歴史にマッチした伝統的で調和のとれた地域型住宅を目指していく。地域の景観に対応できる在来軸組工法を基本として、和風住宅・洋風住宅のどちらにも対応して行きたい。建て方においては、上棟後の防水に特に注意して、シート養生を出来るだけ行う。グループ名や共通ルール、グリーン化事業の趣旨が入ったシートを作成して認可された物件の外部に掲示して、物件の優れた性能やグリーン化事業の取り組みを広く一般の方々に理解して頂く。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域の景観・風土・街並みから極端にかけ離れたデザイン住宅の建設は不可とする。また、伝統的な街並みが残る地域では出来るだけそれらの建物と調和する外観をお施主様に提案して行きたい。温暖な気候の地域が多いので出来るだけパッシブハウスを基本とする。内部使用は出来るだけ山口県産材を中心とする地域材で木質化し、住まいを健康的で安らぎのある空間になるよう提案して行きたい。	◎
④①～③の背景	山口県は自然豊かで温暖な地域である。雑新の故郷でもあり歴史的、伝統的な建造物や街並みも多く残っている。また隣県の広島県、島根県とも歴史や伝統文化を共有することが多い。しかしながら近年その街並みが減りつつあるように思われる。理由の一つには伝統的な街並みや建造物で住宅性能を上げることが難しい面があるからと思われる。グループの目指す地域型住宅とは、地域の景観・風土・歴史・伝統的な街並みにマッチしつつ、一定以上の住宅性能を維持したものとす。また、地域材を多く使用する事で山林の保全や中間地域の雇用、そして水質の保全にも役立つ取り組みを目指したい。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域の伝統文化の継承にも貢献して行きたい。グループでは第一回目のブランド化事業に採択された平成24年度からの構成メンバーでもある岩国観光協会が運営している鵜飼事業を支援している。鵜飼船等の補修材の無料提供、かがり火に使うマキも無料提供している。このことは、この会が建物のようなハード面だけでなくソフト面でも地域貢献をしていきたいとの思いからである。山口県産材を中心とする地域材を使用する事による山林整備、それにつながる水質保全、そしてその川下で行われる伝統文化の鵜飼。川上から川下まで、山林から建築材料へ、建築から伝統文化まで、より広い形で地域に貢献していく事がグループの目標であります。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通し柱は4寸とし、できるだけ山口県産材を中心とした地域材とする。管柱は3.5寸も可とするが、できるだけ4寸材を使用する。外回りの桁は2層部分においては梁せい6寸以上、3層部分においては梁せい5寸以上を標準とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 使用建材は共通ルール、共通の性能をクリアしているれば自由であるが、会としては出来るだけ山口県産材を中心とした地域材を使っての木質化を奨励している。また、用材・建材ともどもJAS・JIS規格に合格した者を標準とする。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 用材の規格寸法や断熱性能等は共通ルールの中で標準の仕様として取り決めている。その他の仕様は、施工業者個々の目指す家づくりへのこだわりもあり、またその建築現場の地域にあった家づくりを提案しているので特に設定はしていない。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木供給業者と製材業者で年間の協定販売の取り決めをして、用材の価格・調達の安定化を確立している。木材以外の建材も会の流通メンバーより建材メーカーに働きかけてコストダウンを目指し、より良い施工が出来るようにしていく。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木供給業者、製材業者、設計、施工業者の情報をネットで共有する。必要とする材の寸法・等級等を川上サイドが把握して川下サイドに出材、供給状況、流通価格を提示することで無駄な設計見積もりを省略する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計及び施工業者の中から代表者を選出し、原木供給業者と製材・プレカット業者との間で委員会を設置する。年2～3回くらいを目標に委員会を開き、川下サイドからの希望・要望を反映して川上・川中サイドの生産合理化を図っていく。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年2～3回の生産合理化検討委員会を収集する。また、他の会員や施工現場、評価事務局からの要望があった場合に臨時的供給委員会を開く。また、議事録を作成して他の会員に配布して内容の周知をはかる。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成メンバーの製材所が機械等級のJAS認定工場となっているので、JAS材の使用割合を高めると共に地域材の割合を高めていきたい。また、耐震等級・バリアフリーもグループルールより上の水準を目指して行きたい。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 山口県優良県産木材の使用割合をクリアする物件は出来るだけ山口県優良県産木材物件の認証を取得する。優良県産木材は県の検査があり、材に対しての信頼性を得ることが出来る。また、可能な限り機械等級で検査し、品質のばらつきがないようにする。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造材の基本単価を設定し、一定の期間その単価を保証する取り決めをする。概ね3か月を目安とする。一定の単価を設計・施工業者が把握することでお施主様に対してのスピーディーな見積もりが可能となり信頼性の向上にも役立つとされている。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材工場・プレカット工場の見学と使用する材の品質確認をお客様に提案する。要望があれば加工前の材を確認していただき、安心安全を提案して行きたい。会員それぞれのホームページをリンクさせて消費者に開かれた最新の情報を提供していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山口木配り・喜組みの家	(地域型住宅供給対象地域) 山口県・広島県・島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山口木配り・喜組みの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0171-0632	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工後10年間の間に3回以上の点検を行う。維持保全管理記録は施工業者各自で保管する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現時点では特にどの機関も活用していないが、必要なら検討委員会で決めていきたい。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報の蓄積は各施工店で行うが、事務局が必要と判断すれば履歴情報の開示を求める。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工店独自のルールを尊重するが、基本的な共通ルールは今後決めていきたい。	○
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工店独自のルールを尊重するが、基本的な共通ルールは今後決めていきたい。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実施した点検補修は軽微なものを除き事務局に報告する。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 表しの無垢材のメンテナンスを中心とした勉強会の開催を計画。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材業者がストックした羽材木材を使って住宅内覧会等の会場においてDIY体験を開催する。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に施工業者の集まり、お互いの維持管理体制の情報交換をする。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 倒産廃業等の物件に対しては、全メンバーで協議の場を持ち今後の対応を検討する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	特になし。 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計から申請までのサポートは設計の構成員や木材を扱わない流通の構成員が担当する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: チェックシートは各自で作成保管する。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上棟時、完成時にチェックシートを確認する。また必要と思われるときは要望に応じて提出する。	◎
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 熟練工の慢性的な不足を補うため、仕上げ材を出来るだけ工場生産とする。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材業者・プレカット業者・施工業者での勉強会や技術研修会を設ける。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 50 今年度の参加目標人数 16	
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 43 今年度の参加目標人数 15	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局から山口県、広島県、島根県での講習会の日程情報を発信していく。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の横架材としては杉が主流であるが、桧の物件を表し材で導入して行きたい。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 古来からある工法でも長寿命仕様をクリアできる工法を開発して行きたい。	○
その他	特になし。 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山口木配り・喜組みの家	(地域型住宅供給対象地域) 山口県・広島県・島根県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山口木配り・喜組みの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0171-0632	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

○認定低炭素住宅及び性能向上計画認定住宅について。  
 省エネ重視の顧客向けに販売するが、顧客に対し優遇税制がある認定低炭素住宅を優先とする。  
 建設予定地では認定低炭素住宅の認定が取れない場合性能向上計画認定住宅を勧める予定である。

### 定量的評価項目(必須項目)

○省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量(家電等のエネルギー消費量を除く)が△10%以上となること。(※)

省エネ法の省エネ基準      低炭素基準

### 選択的項目

省エネルギー性に関する基準では考慮されない、以下に掲げる低炭素化に資する措置等のうち、一定以上を講じていること。

○HEMSの導入

エネルギー使用量の「見える化」などにより居住者の低炭素化に資する行動を促進する取組を行っている。

○節水対策

節水型機器の採用や雨水の利用など節水に資する取組を行っている。

○木材の利用

木材などの低炭素化に資する材料を利用している。

○ヒートアイランド対策

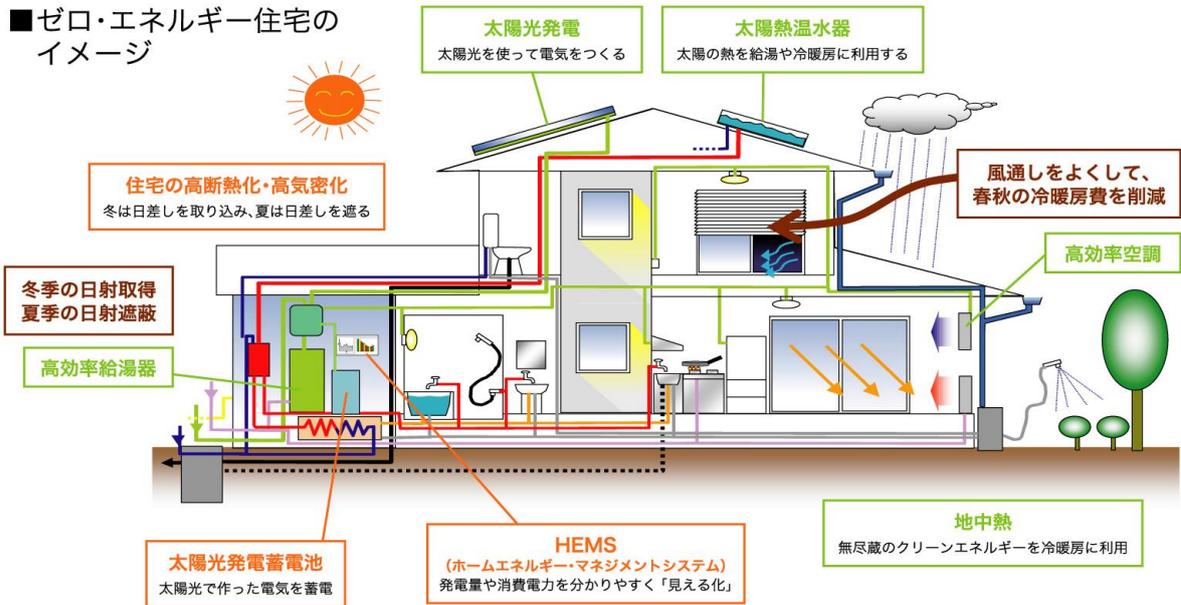
敷地や屋上、壁面の緑化などヒートアイランド抑制に資する取組を行っている。

### (戸建住宅イメージ)

※省エネルギー法に基づく省エネルギー基準と同等以上の断熱性能を確保することを要件とする。

○ゼロエネルギー住宅について。  
 更に省エネ重視の顧客対象だが、掛かりまし増し費用が増大する為、グループにて情報交換会等を行い常に断熱資材や高効率機器等の価格低減につなげたい。

■ゼロ・エネルギー住宅のイメージ



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。